

運営推進会議開催報告書

下記事業所について、次のとおり運営推進会議を開催したことを報告します。

1. 基本情報

事業所名	小規模多機能施設 ゆい青葉		
サービス種別	小規模多機能型居宅介護		
所在地	横浜市青葉区荏田町1288		
担当者	井口 祐太	連絡先	045-912-6461
運営法人	株式会社 ゆい		

2. 開催日時・場所

日時	令和7年11月18日 16時20分 ~ 17時	場所	オンライン
----	-------------------------	----	-------

3. 出席者

氏名	分野	備考(所属・従事経験など)
■■■■■	利用者又は利用者の家族	
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	歯科医師
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	ほっと青葉
■■■■■	市の職員又は地域包括支援センターの職員	荏田地域ケアプラザ 保健師
■■■■■	市の職員又は地域包括支援センターの職員	大場地域ケアプラザ 社会福祉士
■■■■■	市の職員又は地域包括支援センターの職員	すすき野地域ケアプラザ 主任ケアマネ

4. 活動状況報告

別紙(第3号様式)のとおり

(裏面あり)

5. 活動状況に関する評価・意見・要望

包括①: まだ施設に行ったことはないが他の小規模ではデイ利用中のレクリエーションあまりやってない印象。どのようなことをやっているか？
通いの方の人数が多いですが、その点は売りだったりしますか？
包括②: ゆいのケアマネ事業所と連絡を密にいただいているので、相談があったときにどちらも視野に入れて検討していただける体制があつてありがたい。
地域支援者: インフルエンザでのご対応は大変だったと思います。

【外部評価から】

包括①: 主マネ企画のイベントにも来ていただいて助かっています。
地域支援者: 荏田アートカフェにもご利用者と参加いただいております、地域に溶け込めるように努力されていると感じている。防災についても参加されていることが分かった。
包括②: スタッフや他の利用者様との関係性が近く、良い意味で垣根が低い、家族を巻き込んで良いという雰囲気施設にあって、それが家族にとっての満足に繋がっていると感じる。
包括③: ボランティアを受け入れていただくことで、より地域になじむのではないかと思います。

6. 評価・意見・要望に対する考え・取組

サービス内容について:
デイ利用中には一緒に壁飾りを作ったり、手作りのゲームをやっていたり工夫をしている。
ご利用者様に応じて通いを多くしたり、通い以外では服薬や安否確認の要望で訪問を多めにしたたり、住み慣れた自宅を中心とした生活を支援できるようにしている。
今後の取り組み:
地域のボランティアの受け入れ等についても検討していく。今後も地域活動にできるだけ参加する。

7. 地域からの情報提供

8. その他特記事項

・集合で開催予定だったが、施設でインフルエンザが発生したため急遽オンラインに切り替えて開催した。
・1月 隣接地に障害者グループホームの2棟目が開設(ゆいりんく荏田アネックス)。
居宅介護支援事業所、定期巡回・訪問介護も同一建物内に移転予定。

活動状況報告書(小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護)

1. 基本情報

事業所名	小規模多機能施設 ゆい 青葉		
所在地	横浜市 青葉区 荇田1288		
担当者	井口 祐太	連絡先	045-912-6461
運営法人	株式会社 ゆい		

2. 登録者の状況

登録者数(10月 31日現在)	女性 21 名		男性 4 名		計 25 名		
要介護度	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
	名	名	1 名	7 名	5 名	8 名	4 名
平均介護度	3.2						

3. サービス提供回数(会議開催の前月分)

登録者	通い	泊まり	訪問	備考(入所日、退所日など)
ア	13	4	16	
イ	18	10	15	
ウ	17	0	34	
エ	4	0	11	
オ	20	9	26	
カ	27	7	40	
キ	18	10	17	
ク	8	16	0	
ケ	13	6	32	
コ	13	0	26	
サ	8	0	21	
シ	0	8	0	
ス	13	12	0	
セ	5	0	27	
ソ	22	0	44	
タ	30	21	17	
チ	26	12	28	
ツ	30	26	4	
テ	30	22	16	
ト	9	0	18	
ナ	20	9	31	
ニ	18	14	8	
ヌ	22	4	37	
ネ	12	0	37	
ノ	29	29	2	10/2 利用開始
ハ				
ヒ				
フ				
ヘ				
平均	17	9	20	

*

(裏面あり)

4. 運営方針

事業所の目標	事業所の理念: その人らしく生きる～その一瞬を大切に～ 今年度目標: 仲間と地域で築く、優しさの介護
目標に向けた 具体的取組	<p>【事業所のしつらえ・環境】 「“やりたい”を形にする、自由な暮らしを」 ・柔軟なスケジュールを作成 ・日々の生活にかかわる外出の支援 ・やりたいことを個別に実現していく ・施設回りの清掃活動</p> <p>【事業所と地域のかかわり】 「地域との交流を深める環境づくり」 ・自治会、地域のイベントに入居者と一緒に参加する (利用者と共に地域の防犯パトロールに参加) ・他事業所と連携してのイベントの計画及び開催</p> <p>【業務・職員について】 「仲間と共に築く、優しさの介護」 ・ボトムアップを取り入れる (ミーティングや会議の場でスタッフが自由に意見を出せる仕組みを考える) ・チームワークを強化するために、計画的なレクリエーションを実施し、スタッフ間の絆を深める</p>

5. 活動報告

<p>○社内研修 ジョブモデルアカデミー(eラーニング) 【8月】事故発生又は再発防止に関する研修 【9月】身体拘束の排除・高齢者虐待防止に関する研修 【10月】プライバシー保護の取り組みに関する研修</p> <p>○外部研修 実務者研修 介護職員1名参加</p> <p>○行事 8月: 壁飾り 9月: 消防訓練 9月: 敬老の日</p> <p>* フラワーアレンジメント・・・毎月第2・第4木曜日 希望者のみ参加</p>

6. 事故・ヒヤリハット報告

内容	<p>事故・・・2件(内行政報告 0件) ヒヤリハット・・・ 5件</p> <p>●事故報告 ①7/29(火)16時半頃。利用者(車イス使用)の帰宅時、玄関扉を通過する際に左肘が扉に接触し、直径約5cm(500円玉大)の表皮剥離が生じた。事故後、訪問看護ステーションへ連絡し、処置を実施してもらった。</p> <p>②転落・・・8/10(月)AM6:45頃。他利用者の起床介助中に物音がしたため訪室すると、ベッドサイドの床にうつぶせになっていた。意識はあり、額の切り傷から出血していたため止血する。以前、先に起床介助をし、車いすに座ってもらっていたが急に立ち上がろうとした、というヒヤリハット報告が上がっていたため、ベッドで待機してもらっていた。</p> <p>●ヒヤリハット 5件 ①転倒・転落の危険性(2件) ②むせ込み・誤嚥の危険性(1件) ③その他(2件)</p>
----	--

改善策	<p>●事故報告</p> <p>① 【原因】本人が車イスから肘を出していたが、気付かずにそのまま動いてしまった。移動時は肘を車イスの内側に入れておいてもらうように声掛けをしているが、すぐに外側に出してしまう。 【対策】車イスでの移動時には、腕を内側で組んでもらい、それを確認してから移動する。また自宅での移動時には、ご家族に見守りと補助の協力をお願いしている。</p> <p>●事故報告</p> <p>② 【原因】片麻痺がある方で今まで、1人でベッドから起き上がることがなかったため、大丈夫だと思った。 【対策】職員間で情報共有を行い、起床介助の順番を変更する。都度、ご家族に状況報告をする。</p>
-----	--

7. 地域への情報提供

9月24日 消防訓練実施(青葉消防署江田消防出張所立ち合い)
10月18日 小黒自治会 防災訓練参加

8. その他特記事項

特になし